攀北平間近に聞え始めた、この戦闘は北平を一鈴木、酒井南部隊が衝突したものと見られる「てゐる、劉懿弘獻を職よる北方にまた~~砲撃轟き、機關銃、小銃の銃」保安隊阮元武の部隊及び西苑の敗殘兵と我が「やらにあくまで襲撃的記せとつ【北平三十日同盟』三十日午前十時半頃北平西」隔たる約一キロの貨寺附近において石友三の「→ゞンタモロの寮贮ら教験される

一場守備隊

優勢なる敵を撃退

とするものの如く、あちこもで繋放線を突破せんと全ててあり我

黄寺附近で今朝衝突

【北平三十日同盟】治安維持委員

務委員には冷家襲、呂均等六名が

士よりそれた― 六名總計約四十 名よりなり、委員長に江朝宗、常

**新聞界、有力自治團體並に在野名** 

府各局長、商總會、銀行、公界

【南京三十日同盟】蔣介石が地方的解决を排 ら旨宣明したにつき消息通筋は北平の

と日本政府との交渉一切を承認せぬ意味と

英國靜觀

朝野の意向を打診

蔣治安維持委員會を

委員會を承認せず、乃至同委員會

和議斡旋を日

 $\mathcal{O}$ 

# 津三十日同盟] 支那朝に攻が一いが夏那個の滅点が果してどの乱

及維 持 不 自 會 成 山

## **変態に堪へかねてか二十九日夕**利 度だのものか我を 軍事間上院パルギー領事に対して、足らものがあるが頼る疑問

## 見は市政府、民間代表等四十名 委員長に江朝宗を推

歿 會式を擧げ引續き第一回協議 曹を開くこととなった、委員は市 は卅日午後二時より全員参集 推されるととなった(寫真は江朝宗) 江氏は北支の元老

上新、進蔵新年に封せられ届来元老の一人として北京に隠憾し一九年が一条加し京師遊兵總司令に任ぜられたが復辞史戦して辭任、同年隆東 二八年整作築北京航退後、無点聯合教務會(後に監問治安維持會)

承認せず

なり同年国務監理代理として喚醒解徴になった、影動の復辞運動に生涯派観らして京帥の治安薬特に任じ一九一七年京建南皮側引令と北平管導起博送で本年七十五龍北支元老の一人である、一九一二年 石安維持委員會の委員長に推された江南宗氏は元北京國務機期代理

ではあるが軍事的見地からは必らずしもしか

河北の信勢型化を作べると共に中央軍は北上したが宋の孫三の要語 抗野を決励し日本軍に對し組織ある抵抗を減みることは用来なかつ よつて一定地域においてその北上を存止した、その結果末が結局

勘たる北平を喪失したるは勿論重大なら打撃始されるに至らない、政治上歴史上の中樞地側は光光常解脈鳴いよを勝て 組織的抗争は 米だ開 今日に至る形勢は流し常然の結果である、然しながら平山地方は配 た、既に北平に通ずる交通線は悪く日本軍の撃中にあり、実践元ま た何等効果的抗事の用語が出來てゐたかつたから七月二十六日以降

ち四ケ條を承認せざる限り中央は断 明について余の宣明した最低 変手数は無限であらら、これとり最低限度四ケ嬢を るでう命じたと作へられるが現状のまとにおいては知 なるものは絶對に許さない、全事態は を取げるであらり、更に今後はあらゆる地震部の係地は至くなし、中國は國家の存在職に主義的 る。日本政府に川県大学に調やして交別的のため開発に会行。 をう動したと解(られる新規院のようにおいては前位を発売した。 をう動した解(られる新規院のようにおいては前位を発売した。 を対していて余の官明した最近保度度の立場、即の四ケ條を承認せざる限り中央は断じて交渉 に應ぜぬ、然うて既率資を要さけるといる主教院を を可募り中央部であら、これ・り服職を置か後ををできる場合 に應ぜぬ、然うて既率資を要さけるといる自本の形決 に應ぜぬ、然うて既率資を要さけるといる自本の形決 に應ぜぬ、然うで既率資を要さけるといる自本の形決 にで、第9中地総信とうての本事院をまつべきである中國 をして支那の機能とといる自本の形決 にで、日本政府に消失といる自本の形決 にで、日本政府に消失といる自本の形決 にで、日本政府に消失といる自本の形式。 のは必要した。 のものは、 のは必要した。 のものは、 のものなが、 のものは、 のものものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のものは、 のもの 歴ぜぬ、他つて既成小者を突きつけるとい

推當

**香學博士 深潮周一先生**東京日比谷祿院及

ので素者としても既に過速の職

淋菌を二重に殺菌し

Na

専間家悉く驚嘆 素人でも安全に出來る

再發せぬ新發明療法

徹に起いたので日本軍は不常の要求を提出して末に飛迫を加へた、暫元に関し即降保定に越くやう総令したが末は石命令を振視して天

金融長として即行政院長として右の腰壁すべき状態につき。地域方における第二十九軍の狭脈は完全に吸北に同した、余は軍

全責任 を買ぶるのである、風帯機事性能生と共に常は宋

# 駐歐支那大使倫敦で密議

郭泰峡及び滯英中の南京政府財政部長孔祥熙然ロンドン到着支那大使舘において駐英大使スコー駐剳蔣廷黻の兩支那大使は二十八日突スコー駐剳蔣廷黻の兩支那大使は二十八日突 スコー駐剳蔣廷黻の兩支【ロンドン二十九日同盟】

筋の態度は前日の翔線におけるイ い意同であららが何しろイギリス数 1社の庭は南京総は帰すらイギリス数 し肚の庭は南京総府を纏り立てた 「ロンドンサル日極尚司盟特派員 べく事態の手解ならんことを希望

養取される 政府はスペイン問題。對伊藤保、そ

きいはれる

### に出沒し銃砲墜絶えず聞えたが午前六時頃漸深更より三十日拂曉にかけて敵小部隊が盛ん 宮崎

支那、又も射撃開始

【天津三十日同盟至急報】一時平靜に見えたが

海に連行さる

十日午前零時三十五分頃敵はまたもや我に

### 西沾 帯を占領す

【天津卅日同盟】支那駐屯軍司令部三十日午 一我が太活攻撃部隊は午前十一時西沾一帶を

【天津二十九日同盟】 芝那駐屯軍司令部二十九日午後七時發表―(一)二十九日夕刻まで は北平西北方の敵を宛平右岸に撃退せり(一)酒井部除は午後三時四十分黄村に進入す(一) 帶を占據

河邊部隊は午後六時宛平縣を占據す 井部除は午後七時頃衙門口を占領せり(一)茲に駐屯軍は作戦開始以來僅か二日にして永定(一)鈴木部除は西苑の敵を撃退しその主力は貰村を他の一部を以て西村に進出せり(一)酒(天津)十九日皇皇皇皇) 静戦忠帥令皇 干九日年後十賢義

は、「吹ぎされたが鉄師毎三版BEの東洋研、天津研での他取入の上海研の能楽館」は二十九日年後十時年日本都駅の御戸館、鉄路【天津三十 日同盟】戦が第一版居住邦人兄を五百名(蘇訴

の後消息不明、多分安全地帯に避難してゐるものと重想されて東北の鏡前第二版は二十九日午後四時までは一同無事だつたが

保安隊またも蠢動

戦が展開した白河

は百方手を強したが二十九日夕刻に至るも登に不明。また錯

天津三十日同盟三二十日午前二時頃天津東

東站總站回で激戦

及び總站の中間において保安隊が警戒中

我軍に突如射撃を加へたため兩 軍衝 突目

銃砲壁盛んに響きわたつてある

邦人多數消息不明

接以下几七八十の外、死似海多数ある思込みなり、歯寒天命多に面風に抵抗し今前室にこれを駆退せり、鯔の遭寒せるが隠は、歯翻第七階が伸伸離に昨日より優勢な難の攻撃を受け居るが守備

酒井部隊更に追撃中

東田淡計

1

78

論自

國十渉を企つ 【南京三十日同盟至急報】蔣介石は二十九日夜新聞記者團との おいて第二十九軍の敗北を認め、これを自己の責任となし次の 北年の東方より四里の地跡にある 河村で去る二十七日から猛烈な 『のぞみ』で奉天へ 指日『あかつき』で入城、同 にのぞみ』で奉天社在米國領事 北支清掃者を進む。明朗北支 天地主黃 川岸部隊戰死將 再號外 の月を脱しむの 等々々――実験の山、悠唳の 「使は死んでも魚談を明ふい」 と飛び出し、緊頭に高談を 明いつ、倒れた様少年 本日夕 **八▲同朝子前缝 大濱岡保▲步**兵 曾見に 最関で左の将兵 Ŧľ ほれず に無名で二十四 年 別園の部下 の解消の外が 東洋平和暗了 なつても、 日遠からじ 信するもの 解國 成河 如く 八頁 相治誘療

+

をんが 私にを忙い 第32年1月1月

 けふ府民館で結成式

干戸を集結

回を売出したので、調技は船間

2になりとお願い下さいと金一「『西天門劉宮下で入登城士の中戦」既に宗教を疏削でも相當に朦朧の接き訴び、朝鮮の附左施院のた「聖として、丁子」即は百八十回を「とは宗門家の「福に際めるほで、

欧せしので開業に微くなしめることが、東京であるのが代子になり、集団の指されば、と言言文を明書「自

米團部落で農事指導

四、同町左げ組合は百圓、竹旅町 報頭町三三西村玉があるんは古

總督府の建物に

双葉感激の土俵入り

防空の施設

陳春は部隊の北支川動に方り

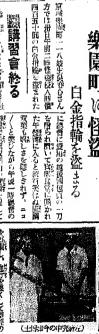
川岸部隊長より

廿師国から祝電 炭部隊長あて

昭和十二年七月廿六日

原城府では早くも水防陣を励める

今津博士の素晴しい研



四百五十回の白金指輪を鍛まれた

一般なり、 である。 を表する大部である。 を表する大部である。 を表する大部である。 を表する大部である。 を表する大部である。

天國行

落し器さでレール状の天命

一十日分 机机物官域暂时

おり

安! 防護は参精の 愛用 に お 京城 委精 元 設 捌 株式 宮 肚 瀬 生身の 飲食! 疾患の不 賞 申込文献 窓 総 磐信 報 奏が確

- 7目 (郵便局前)

を助けての非常時局に高度した。 勢中であり、既教の通り発天に発 T日午朝十脚本府に井坂文書、 勝中戦地たる京城の如き一度び難一所の如き空襲の職で目域1米西襲閣職と長伊進四雄臣一の防ぎ施陀が履されてなく殊に争しするのと云はれ続に白製

現在朝鮮の各為新型栗物には何度一機関級すれば一夜にして

各高層建築も調査

、朝特派員戰死

後の軍を組織したに刺脱された各地

南苑の戦闘で頭部に銃創 京城通信局の岡部孫四郎君







出征勇士に感謝の嵐

支皇軍慰問 お取次をします

ナショナル (三種)

半半二二二二七 額額 設提 割割割割割割 提提 均 供供引引引引引引

八月の定休日11二日と十六日 人月の定体口!!

谐 在可收一页三月超级也 之学日2.排足的数:

衿シャ

0-五0-

双虫液



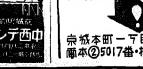












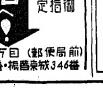
全江 竜宗





は





赤医京 \*十字社朝鲜本部病院服科]学粤门学校附属医院服科, 城帝国大学附属医院服科

流れる生活の真敵 市 そこに損々と 太陽のない人生真

おくないなく行

小生生 700 (リ角=

等で苦しむ人

ナで手段の れる人は

現底の上清末の女を 現底の上清末の女を 東eギャング南東虫は

四の危険がある人 のの危険がある。 の危険だれてある。 で変しり状態り がで変しり状態り

死しい

12

が、大會に就て 一年1日 東 城 初 町 山 一年1日 東 城 初 町 山 一年1日 東 城 初 町 山 一年1日 東 城 村 町 田 一年1日 東 城 村 田 一年1日 東 城 村 田 一年1日 東 城 村 田 一年1日 東 田 一年1日 田 一年1日 東 田 一年1日 田 一本1日 田 一本1日

あわると班網お棚除をしてゐたとなに用郷町の皆徹先種山さん宅を

に熱誠の献金

これは困ります」と思い適け込ん

時ついて来たま、遊んでをりま五月中垣耐難さんが遊びにくる

小國民

を國防費として献金した を採取して愛り歩き三十四十九段

髭の窓兵分配所に各托した

囚徒の献金

月給の一割

宣花を買り 國防に献金

【江死】小型校生徒一同は吹運後

5出た(原文のま)

昭和八年に志願したが思歴がな

一線へ出て御奉公し

#被軍を願い出た中語青年があつ (第一年) | 大・城県府東京市 | 高級版解止和 (第一年) | 本で、城県府東京市 | 高級版解止和 (第一年) | 本で、城県府東京市 | 高級版解止和 (第一年) | 本では昨内各級の局域が一港とない。原東市 | 高級版解止和 (第一年) | 本では昨内各級の局域が一港とない。原東市 | 市では昨内各級の局域が一港とない。 | 大・成県 | 市では昨日 | 日本の地方の電気を管山で取歴が | 一大・近日 | 一大・心田 | 日本の | 日本の

ゆう歌年の遊野兵志願……新義州(奉天)またも一死奉公の念に然

副べた結果、府内費水町一丁目竹川フジさん(\*k)で今春四月 × が認見し毎中に親込み管いところを敷助したが本上整で取が投資したのを折よく通りかった意志同二丁目校研究さんでが投資したのを折よく通りかった意志同二丁目校研究さんで

同居してあたが今回の北支事態で異な郎君が入費することと

州になつて御路公したい

が関か

「威夷」廿八日盛度恵兵隊に第一 從軍を志願

扇子と雑誌 釜山で纏め

平壌部隊を慰問

16…好好明晚町二八獨山梁方原口 【昼傳通】か強い乙女の看機雑志

トエさん(こう)は男兄弟がなく るとてせめて自分が赤十字を

健氣な大和撫子

今度こそは御奉公したいと

(水台浦) 町内藤湖、京仁、

お醫者も銃

縣前老松町一切木店內朴勝範,通 北省明河縣城南美族建金城郡、寨 天军华町一番地域岛吉松方李城市一

命を投げ出し

第一線看護婦志願

無料で診断する等続後の奉仕に翌日しては 称、必要が、虚蓄が等を中部に割の各質能では軍人家族に對し懲必

譽れの伜を激勵

投身した老母危~救はる

これぞ日本婦人の大和魂

戦用し、老ひたりと響も重大の日本館人の国際さに窓際した が用し、老ひたりと響も重大の日本館人の国際さに窓際したが子の豊太郎さんが毎回のため十二分に倒けるやうに死 けたが子の豊太郎さんが毎回のため十二分に倒けるやうに死 けたが子の豊太郎さんが毎回のため十二分に倒けるやうに死

同事件も一段語を告げることに

在つて西世氏氏は選挙規則

水上署では前に桁の後援館と連絡をとつて目下除設中である

を偲ぶ

**簡らされた書信に家庭愛の發露** 

迸る孝養の一

で裏軍の第一観に立つた「くその武威を申外に高揚し剝えと「〇二千萬府政はずた樹脂な裾部接駆敗を那事の戦態に罰乎「役が超音形骸の海動は官に潰えし」至の懐軽は金剛政を整理せしる〇二年 留守宅に健氣な鯉登夫人

6二十八月殿除した前が位によっ 戦端が開かれる戦日観音巫殿長か りである去る二十五日倫も関切の 初めて茂子夫人宛に聞いされ

〇〇に在りて待機しあり、支那、小馬士と表案に答案とて 風吹句荷が 魔魔姫を抱張し巨下駆びすして 、作用二人の坊つちゃんを教唆し三下駆びすして 、作用二人の坊つちゃんを教唆し三下駆びすして 、作用商権制に参郷して 風吹句荷が 扇利を停たる状態に在り、祭れ 2、2。

お世堂シン刀目の老職に手書機 は別に不便無之に就き御安心被

人能明神社に参拝して國政宣将武 の順ましき要に微笑む刀目を慰め 人が世党シン刀目に孝姦を強しラ オ新、開等を置み開かせ我が

あり機能のほどと患者の家庭

從軍を志願

を照顧させたが引載き歴 の生前間も今から十二年切の

族に北文一線の鎌軍を順願した 河四五九代書楽展語館でしの三君 犬は一死素公の念願から憲兵分

ばてれ位前かでもない。して北文學感謝生とともに野土のたが鹿場にある書様の、名が一瞬となり女子青年衛を組載されていた。近年の女子青年衛を組載されていた。 機能 「総合」銃使の熱調量れる適相の

開城の有力實業家

同氏に開城の實業なで信望度く、 常に批演事権に貢献してある人権 格二字四十九個)の献納を申出た 日府職に出頭し重地願鏡一點(何)に第一 日治郷に出頭し京地隔鏡一瓢(四)に第一線に遊かり、和四の間、北本町金元地氏は二十人(の三巻は二十七)、和四の一番に近十十七、和四の一番の一番に近かり、

東の武成を強か上にも高揚し、掛 に組織はしい、しとそかなトミデ

の 一角原列もいっことはない、愈立 相震みません。主人は出象の数 皆様に色々と御心配かけて夢に

ク井雪線の弾々しき活動振りは皇 け給圏に整理されば石美雄の家庭。

まく放動しを勢の敵を派隊した五 指。日は主の進去を思ばせ、総内職であつた鹿が殿で展兵をもつて 面の際に掛けてある戦長の軍院と

学到他以來最初の家 〇階長の留守宅を訪れるとを開正

へ君と部下勇士の辛苦**偲ん**で

五ノ井夫人の活動

支那人感謝 慰問金を許託

河分傳

のたのが今は精り精つて五百国に 国無阿爾的佛」の記念碑を建立し

察してあるがモトさんは死後一

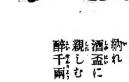
(群山) 斯內里爾支那人 同以甘 省 動態機学氏を代表として群山

あつさり服罪

事が一週間の期日を経過するさ 放棄し緊急判決通り服理するこ 松野也の場合は八月三日をもつ しなつたので芸術権を保留中の 三言後30れたが、司氏は金子 別意反表示事件に既服の加くこ 光ヶ月但し三年間形の第二 **北京美國面呂後里市局東部共行** を作了 動場の町景のに上げら 是海路區級田黃海難館為路



凉を



社會式株造職鮮大







事が出來ます。 ゼヒ恐ろしい病害を防ぐ に脚内の海楽・御首 害の活性炭素で速か に用ひて偉効を奏し を吸取づて体外へ出 アドース錠は絶對無 しますので教急の際 瓶を御備へ下さい

に違ふ。





新版に入をしたものであるが耐内 山本里の自宅を訪べび同様の計算 が次の如く謎つた 新聞に要けた身ですから近しい とは最かさせが大から年前か とせばかさまります。

戦死は覺悟の前

金融版本町一ノ四津屋が草町、長 魔化した一座失江崎介殊だされなりの意味で動演部は通鉄側を受け

不遇に泣く家族達 お國の爲と大喜び



を なり 昨年 取役 点別 氏として 廿一

念佛婆さん

若い時から貯めた



店商客友漂藤 社會式株 町 修 道 區 東 市 阪 大 町 本 區 様 本 目 市 京 東 小西府城京

「夏から秋への鶴生」 最も別

心臓療薬と物明し、交加強の

「住山」既義、東面に祀つた群

病氣に判明

酔漢の怪死

大久保政連氏が繰上げ登

類果要見なことも解り避び暗れる をいけてゐた金は短の季行調査の

一日醉せず

四十女の詐欺

110 P 8 8 8

**傳染病や食あたりの** 

ければ一命に關はる 手幣は一刺を筆はな

ことがあります

は、タミンは、D窓に富み 風のるガルシウム、ビ 風のるガルシウム、ビ を風動にするリデン、 食慾進 初産にも悪阻知らず

の减退を來す時ですから、抵抗力の弱い子供は尙更で、 兒のある御家庭では特に警戒が必要であります。 而も食物の腐敗から傳染病の黴菌が繁殖するので、愛 べき現場であります。

に最

・ 歯を 悪く が が が 胎見にまで影響する

衰弱せぬための榮養法

い智であります。 に得異な感激は、日常の食物中に一つ電館職を無停し、皮別に防ぐ 物を掘りいることの出来の間をいることの出来の間にいいていることの出来の間にいいていることの出来の間にいいている。 なき解戯作用シロで、全身の姿が これを製削上「細胞別に気撃活」といふので、何塚の副作用 が随い刺戯技舞し、特に問題の

せねやらに

るので、今まで通りの概律をとつ、そんな副合には特に、何かなと思いませばになくてにならなくな、に認称させることが用来ません

船な、新しい

活躍にしますので、特殊な就行



・食慾不順によいことを思い出趣味に出てゐる「能療わかもと」



はに答贈御

に位本庭家御は答贈 に位本質品は物品 うせましか生を意誠る贈

・ 対肌にか器を欠ったら、いかに お質の を続き、砂酔のタルミ、小部を影響に一番 とて、砂疹もいきくした、 観しい表現を が取してすから、レートタレームこそ歌な が取しますから、レートタレームこそ歌な の収載でする。

店商平货尾平。 京戰

ノるす化美を肌なき防を防止し無日

粉

る事と思ひます、それ程鉛自は良かつたのです、だが其素暗

無い自粉がつまりサーワ固形自粉です、是非一度御試用下さい しい鉛白の附着や伸びをより以上持ち、總無路無害の非分の

白草

の特 素 許

公

費・ 粉



込んだぞうに美しく都芸で成から他の出い人の肌の 様にな 瞬以下三分の一位で充分。而して起く程が保します。 ずが非常に振かく特に被視力が大きくがへる場の別が信仰の ●動、手足まで - 完全に「湯化粧」が出来、自根が順見に

が順や動理などの出来る強ひなく影響に期を続き、不可能の くげって生物ある化粧がとなります。 漢の他能すべて水崎市がよく和き、松崎市を用へば即、西殿

店 商 蚕 見 丸 四州・京東 日本協石ワッミの

犯へ行っても問題せず、殊に審水符では日本を防ぎます。

三 六糖型

の温では液腫、色は常に無色、

ないが、その作用が乱大きい

生のもの、専丸に協賞して表現を

**チフエニール** 

生理作用

五、英陸化「ソーダ」水溶液四、黄性「アルカリ」水溶液

過じマンガ ン 一酸 「ア ルカ

顔も日毎に色日に

灰城馬 矢 部 邦

日 今時のラデオー

動し、クシャミ及び無吐を酸せ

時生のもので軍丸に援軍して服ふ 二、赤性『アルカリ』水容液・

数瓦斯は最及ひ昭根の結膜を

東は苦島統領集、水には分解し一時

クシャミ

ステル

メチールエ

力威のスガ毒き

間では家庭、白は常に無色、

ホスゲン

に保存しておいて下さい

単征なる時は2%重要水にて洗出っれば暫時にして治療するも

青化炭酸

お願ひを刊の本面記事を共にお宅

に腹股堆肥臭、水には分解する

時性のもので、変形のものを弾

か大でその翻擬が巡いので知らずと大声がないが、機器よりも能能 ですの間に深部に到達する

生理的作用で乗り場合

### 毒ガスの種類 の。出土地資産的平山和工を配した。珍らしきも、関の職様の刑法に孔仏堂

### 應急處置の方法 備へよ!空撃

笔息性 **\*\*\*\*\*** 图 第 あれば恐れなし

常温では面積、色は常に無白、特別はのもの弾丸に収置して用ふ ベンジル』

消毒剤としては

作用し肺臓に関腎を興へ磨息死

生らしめるもので

監表 は 自然

に「タンヤミ」を設せしめ思心に「タンヤミ」を設せたが変化し時限、呼吸器に対する刺戟性大に 用より特別のもの、別丸に成實して生物の性のもの、別丸に成實して

以上真化ペンジル、前臭化ペンジ

『鹽化アセ

一、 版に對しては初める光重商者 ・ 皮膚に剥音するときは2%戻 ・ 皮膚に対音するときは2%戻 手営法が職業である

多少効果を認む

して用よ、中知的作用は概義の

が過では経路、色は常に無当、特

ンジル

院久性のもので、環丸に収賞して、臭は芳茶解析子臭、耐水性で、半

大権を刺載人にして

を担す。大量に吸入する時は悪心顕循

は常温では液體、色は常に無色、

クリン

百と大差がないが、 其の作用的

手僧は 勝義、奥葉の中部

さは末脚、特臭は刺媒や忠臭、水田は富田では露末帯、液脈、同風

見まし は你温では繁祖 させるものである

にて洗服し次で生理的食気水に「、重能なるものは2%の重度水時にして治康ず

**空梨中に出づれば暫** 

四、水腫、氣質支換、肺炎等を

(他)ので、一時番しく親力跳師を組 一、新鮮なこの群瓦所は限の結膜を刺戯して 一番

公に肺臓に作用して光血し、 類射動性が激烈で咽喉、 眼、鼻等

の配見所は中機解把及心臓に作 中毒性

用して中華技化せしむるもので アン イサ

のもので、原丸に鑑賞して振爆を臭は苦蘭船舶臭、飜水塩で一時性 沿温では問題、色は常に無色、

久性のもの、弾丸に縦貫して戦は 常温では液弱、色は常に無く、特 は、無き日学に作るがます。 は転先々ら興戦が神上でます。 は転先々がは、大変によく、今活用のであた日が、 は、無き日学に作るゆき中では「私かしら」と解く整形はな肌になってした」と解くを表れていません。 

常温では液理、色は気軽液腫では

油臭、水には分解し、一時性のも 無色、固盤では白、特臭は苦扁桃

機き取らして用ふ

災化作用を置む事になります。

胎兒の發育と 最も旺盛な時期であつて、出産胎児の發育力は人体の全發育中 体の健康にノ

店商助卯田和 町修道市販大 - 上塁子册 にめたの蓋安 逃士韓凌郡片



青化砒素 デフエニール

理を避せしめて用か ムサ

で、郊丸に似数して雅燈を設しめて、水には分解す、一時性のもの常温では回帳的は淡緑で、臭びな

以上デフエニール製化砒素、デフ と同様なれども其の症状的趣効機れ「ジフェニール」腫化能水

低のもので電版にして服み、生臭は刺鞭臭、水には溶ける。一 は御練支、披鶴、問題では寅、

三、多碘化「ソーダ」水溶液三、多碘化「ソーダ」水溶液

五、水

を領白したり皮膚網索としてニキビ、メー

野から間的力、器能力のあることは知られ
シ、ハタケ等の世級に使はれてゐますので

てゐます。又生與學上から見て理解の成分 として希前が五パーセント以上必要である ことが明らかに知られてゐます。それで履

小皺も目立たなく 度品展 井上たか子

に無する時は汗の孔や毛孔より

下に設強して色黒の原因をなす

酷い脂質は サッパリと 断上しづチ 景を清白戦少し且つ皮膚面の病療

げたやうな美しい肌になるのと配 と呼由です。 最近型にとの値めて 過期に気がく残つてあれば低する 及び小雅事色々の観いものが出版 に競手皮膚製養料と配合した唯一 べくした傾合な大理石を南き上 てゐる方々が、極く少量ではある がコロイド硫黄を含んでゐる磷酸 や皮膚筋にニキビ、ショ、大出地 これは丁康人取以上百の無 ロイド状態となりますと動力は

継郷としては **賀用上遠當**(たるもの)吸入を質局せしむ前臥床保護酸素(提胺瓦所を加

ではられ トリフベルだなし

間似いことをしないものは、いつ

われながら不安だつたね。

といって、顕を置いてるのなっ

と、離かにいはれて

でどうしたんだし

といっちゃったんにち すると

だと魅つて、観の家ベルだのと、そんな話ばかりがは

ひなく

**常温では気軽、色は常に無色、** 

と、出版は見しなった

づんにもんにかい、つい僕も釣り 誰…グァイリスだの、誰はトリッ だが、それがオッかけになって、

なるものなし 数数を犯し吸収中毒とも起っした。 見斯は皮膚を腰欄せしめ肥、 ペリ

お他既が異ばれるやりになつて繰ります。それ

使れるので、いきほひお化粧も素肌が低く寒い

世のもの、頭丸にき麻實して或な徹 臭は芥子油臭、献水性で、搾久を

皮と低皮の頭胎組織内に存在してゐるメラニン

他これ年 人の皮膚を夢色してゐるのは我

ヒツボメラニン様であります。それでこれ等の

生理的作 用

一、波状のもの皮膚に附着するときは一定時間の推打・四時間)後女和し種庭状流機衛・一定時間の推打・四時間)後女和し種庭状流機衛・一次底に綴る・ときは四、一六時間の後初めて原帯部派を超する場合に開びたるものは液状の場合に同じ。

があるものです。

日焦は消えて色白に

ニキビは痕跡なく

提みから解放され美自な肌になら 脱版に、配る無数安全に一時の日 焦は勿配。色品。脂酸・ニキセ・シ 使ひますと前提の三氏の超く等く ミッソバカス其他自動集や小戦の

を極めて容易に防止する事が出

最も旺盛な時期であつて、出産より成熟までの毎週〇、〇二倍 の成長に對し分娩までは毎週九 の成長に對し分娩までは毎週九 の成長に對し分娩までは毎週九 の成長に對し分娩までは毎週九 母体の美貌、毛髪、牙齒の悪化見を得且つ愛見の肥立ちを早め、変育良好なる健康で投乳期の共だしき母体の榮姿が投乳期の共だしき母体の榮姿が投乳期の共だしき母体の榮姿が投乳期の共だしません。 よの臓取を怠る事は出來ない。 骨核の構成要素たるカルシユー るが、其の中でも胎兒の曲牙、 0

錠ムーユシルカダ

野水生で一時性のもので 識知新容美

毛は黒く肌は白くなる 硫黄の美容効果

際にさらし出され、お化粧のアラも壁に目立ち、したりして脳々動作形がありますので経覚の化 ・で照す鍵に凡ゆるものがムキ出しに明るい からして使へば、眉毛やマッ毛 が濃く肌はメッキリ色白にこ

酸素で披放り源白して希望の色に着色するのが

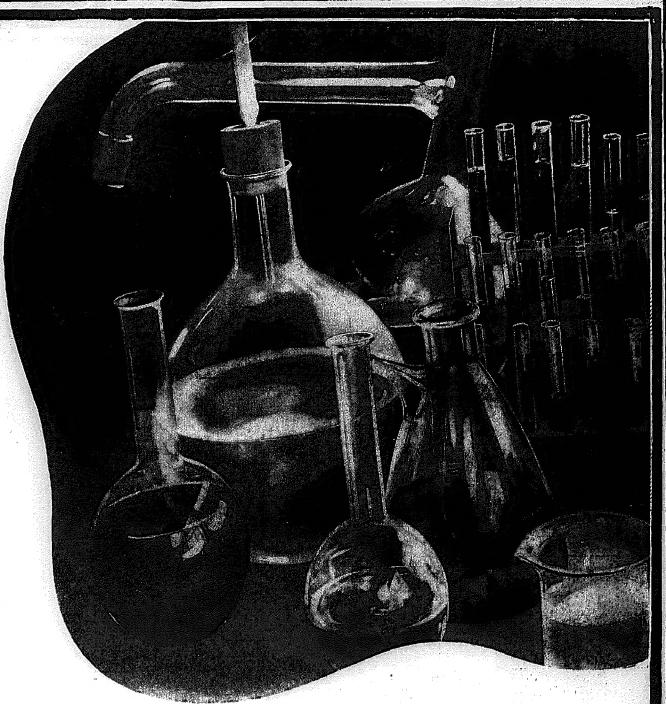
ります。例へば肌の色素を過酸化水素で復白す 色素を設分でも除けばそれだけ白くなるのであ

彩らしくはありません。 然し大概は制作制 契容界の先端を走る人に行はれてゐるが如く の様に色素を状取る原品や方法は北定も 魔がことに推炼する砂粒は良く配装帽子

されてゐますが、更に之が活出の 方層網票や其他版々の方面に開用

ます。その上書さのため、神と関が止めどなく、事の逃歩は遠にこれをコロイド状態となし代表 テラーで、此級数は理想的な契格域として弱へられま 率の日下野田内として駅後の路いレオン脱町 物の様に活動してみるのが脱れ種類類でなくて 那として實際化す糖になりました。 すがやはり其他用ひては他のものと同様期を発 を皮膚熱を料と結ばしてありますので、使用の クリームはこの保存に困難な活性コロイド は見る歌が出来ない難で、励も保存がとて **曽県。シャ、ニキビ等の概を奏自にし時度や** 壁でありますが効力は製師となり観點副作用が 機くするのでこれに依つて完全なる解析の側側 都挺この強烈な採白作用と製御作用とにより このコロイド機能とは形形な数似乎ではも田





健康法の指針 ▶活動の源泉→ 御申込次第進品

本劑の常用 く促進し細胞原形 電池 免疫性補強 体重増加 食 変性補強 体重増加 食 質を賦活し 次いで栄養不良を改質を賦活し 次いで栄養不良を改質を賦活し 次いで栄養不良を改

**造血アウト** であってその使命は造血臓器の機能を刺戟鞭撻し組 血臓器に對する榮養供給の資源こ **して血球の再生に闘夷する点に特** 質がある 故に

ロタルピンの有機鉄化合物であっ の集成を有するのであ 人体肝臓中の貴重成分ミ同一 プロテオーゼの成生物プ は蛋白 解による 6る酵素化第1質の加水分 3 即ちブ

时位是巨东市四次 町本區橋本日市京京 店员官农港原 配合式贷

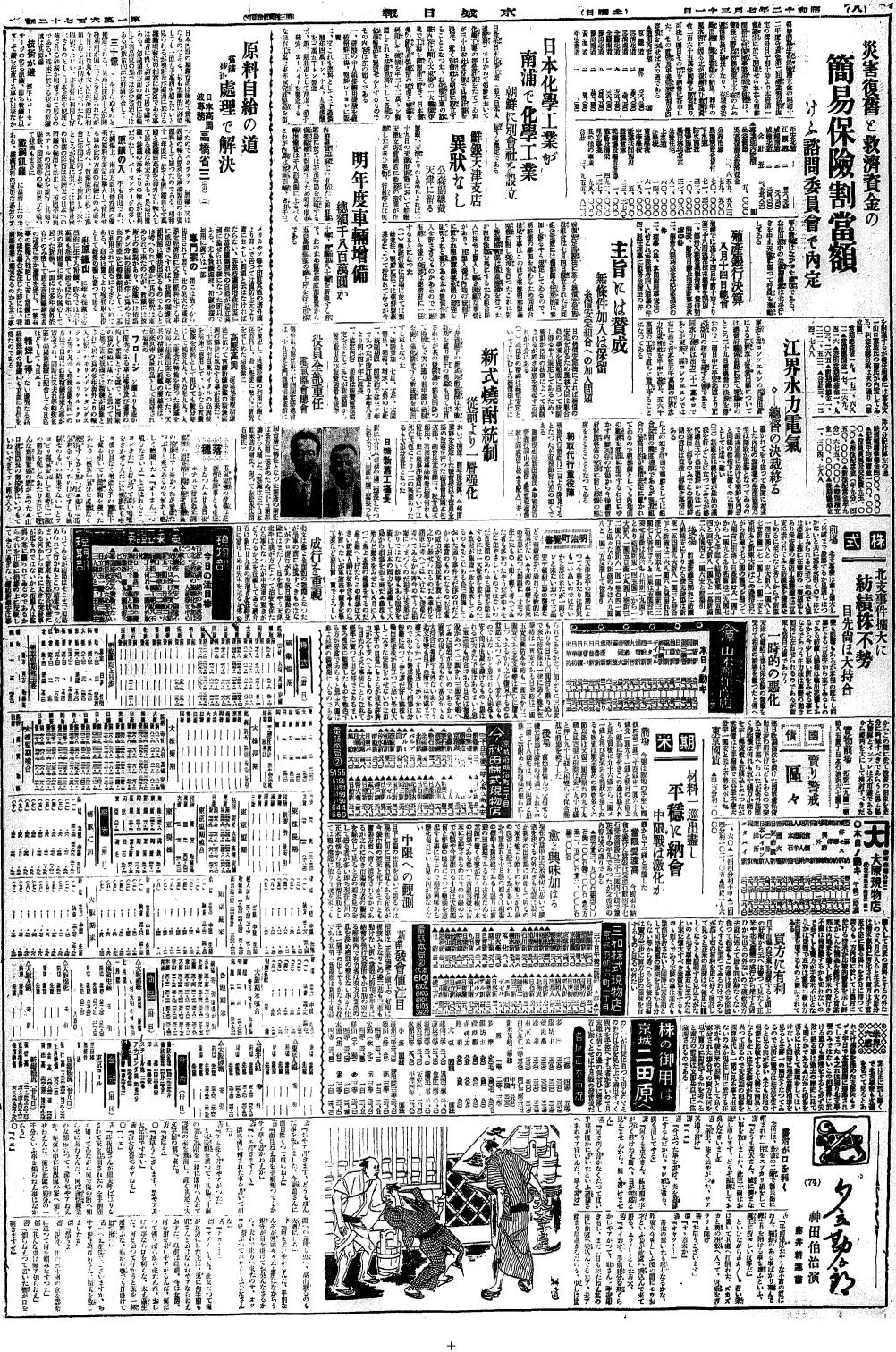
T:FUJISAWA GO.

1.20

建設するここは科學的に立識され

てゐる所である







內村井

洋樂樂 行房房 所

樂

介 とする模様である、今後の事態は一に南京政府の態度如何にあり、蔣介 **松郎内は勿縁取り納事は御倉取より早くも火の城上に着目、内面に対動は復却な助きを見せて来た。所は表則將介石の高しい唱ぎにも似た強急。或る之称、全面最も取て肺せずとの感覚と時してゐるが、** つたが、壊滅的損害を蒙つた敵軍は保定の線に退き陣容を立て直さん極めたわが二十九軍階懲の喧闘は三十日來全線にわたり休禮狀態に入確保し、北平近郊の戦線も又三十七帥の南方への退却でさしも猛烈を 上で、は、一人の大学のながの目的に反し自然が力の問題化以外何等な。正知も興災安慰のながの目的に反し自然が力の問題化以外何等な 石政権は日にく「墓穴を深め崩壊の危機に直面せんごしてゐる、與踪とする模様である。《名の』『『・・・・・・』』』 上海三十日赤星特派員」我軍は二十九日夜までに平津の線を 質の気が市内を破上てゐる

十八師副長手女田は柳川原同昨夜「飛藤巌」大体繁星殿長にして第三

【天津州日司副】支那駐巴軍司令

行方不明となる

二十七師の殘存兵を

深度行方不明となりしものの如し

漢口新聞に

**激越な記事** 

日本軍の機宜を得た落後階階によ

竿頭に立つ 中國は最後の 分別用題の特別列山で背景に

外交部要人

にあら大連対航支西に保安部及及 | 日人間したる同説航大連続番「星七郎半城縣(前別一版(新周総称が) | 産品及び支配蔵を散験し、二十六【天住三十日同盟】二十九日牛即 が同支配に来り、司支取経三角武

自動車など奪取

謝意を表す 各國大使館 

益、北平域内が無期相域に加らす動を興へ、然「新明公益」は日本は今次事態に際し大使額原域は勿を処け和人使用支那人に非常な動は光生十月同盟」各段大便量で、対域を打倒すべし」と認義な記事

逐次平穏に歸る

那人敦名の名前を列記し「かゝる

開銃の猛射を浴せ正午は途に之を て北進を命じ、一部太郎部隊は既

井岡部隊は之を包閣して大郎、機

九日保定一番の中央軍五萬に尉し

天津包圍戦で重要協議上政府をのふ

皇軍の死傷卅一

別は北安和地の地

歌行流の激感は聽!

交郎省推薦

樋口翻堆

な響の夢

35

が知じ次町での曜

出をせず厳重不干渉政策を固執し一の邦関税政権の存命工作と民間各一央軍の捐職に出つてある

治安健特の菩提策について支加要 だける情勢は二十九軍の撤退を契

蔣介石に代つて耐北省にある常中郷指加原はは現に石炭底にあって 【南岳二十月川盟】中央軍の別数

戰万里

近衛八郎

他として百八十度の韓回をなし、 【天津二十九日同盟】 天津地方に

全中央軍指揮

北省の

手旗の歌

開舞口

目されてゐる

【東京三十日同盟】蔣介石は二十

中央軍續々北進

へ得られるば健らに不必要なる手

鈴木、酒井の兩部隊

の山奥に確定した第三千七師の幾「化乎三十日同盟」北半城外西山

部、午後一時半完全に大治一語の部論は引聞き大治の敵語の部論は引聞き大治の敵語の部語では引聞き大治の敵語の部語である。 我軍太沽を占領 漢口方面の狀況 四散場の地としめた、経験の長は惟「丘及辛店に達し後間部隊も紫州 かに長幸唐方面に諸足した原標で「帝に集結中で二十九軍との共司作

に今挑解以来順況を次平

の東站との交通は自

南苑の激戰に於て

米は不干渉

支那の停戦斡旋方を

人津領事團は

**小信は支那側にありとし** 

たのでホッと一安心の態で、アメ

**清河鎭死傷者** 

【天理三十日间照】 駐屯垣司令部

内燃機界/霸王

絕対是火紙其他準備操作。要完

掃蕩を實施中

掃湯を實施中にしてイター天津防衛部隊は特別第二

り東站地區の間の掃

◆電子略三氏(熱 農塚京駐 在理事)が一日年後・両州五分人城 朝鮮ホテルペ・3分領社のうへ 朝鮮ホテルペ・3分領社のうへ 前内支援機数の重性 今任何定風師 会長任勝守貴主) 本が機勝として卅日のマネタ・ で入城八月三日の◆あかつきゃ

る戦死仏者は左の如し

脈死九、 戦闘三二

今部卅日午町十一時三十分經費—

天津三十日同盟』支那味出取引「河域における服死傷者左の如し

內前相、原和內用等緣與、好山體內所相、那一時相、於一時相、移山體相、移山體相、米

十五名 | 北京 | 北京日本の日本日子町まで土田以下十一名 | 相より二十九日から三十日子町ま 死傷的三百名「収契協議をなした

阿過季詳明就用

各一枚―一・五〇 全関有名響音類形にあり

NALII-K

+

観と問題のため敵の死罪算なく、「大紅門までも引揚げたがそ、間に「てみるかと分句

支那兵三千名の

の機能に於て我が奈康の正確な奈。は、米だ南郷に入ることが出来す。間で際に如何に建議院提供を贈って北平二十日司盟二二十八日南派。超史縣に越いた政氏の報告によれ、位で、これを以て祀ても南郷の時代とれ、位で

敵の死體算な

時より市内観報寺兵権に於て逃げ一が行はれた、右は二十六日夕別霞 き風震な攻撃を行つた部隊である『北小二十日周盟』二十日午後三一おくれた支那兵三千名の武陵部隊 宏門に於て日本祖に對して許し継ば

【天津三十日同盟】我が飛行隊で

凄惨の氣漲る 日沒の天津に

刊し、西米町の上宮を開えず飛

武裝を解除

の問題については日本側で目下考慮にの公同経路に起居するが今後

午後六時、丸腰になったニナ七 は消除を細胞に監機し終ったの

中である

【東京電話】近衛首相の参内 左の如く残扱した

天八時下には時間を御修念

時局を御軫念遊ばさる

あり、爆音に市中を表現してある。九日便然位極時となって、支那は、仕支、那側にあるとし、道・天神の殿町は日本中、翔し必要な南町に爆撃を加へつく。我が全軍の天津に於ける活動が甘、策を履撃したが、結局、不信こころは次の通りである

天津領事間は直ちに創設を開き對

をしたと確聞する、軍

天津の殿間は日本軍が第卅八師

語をとっている何等遺標的 一、数判所構成法中改正法法案 ー、を指揮中でまた。 さない、イギリスも何等遺標すを上程可決、文で 切より濁自の歴度をもつて眺め 一、長役法中改正法法案 (同上) 離ば午餐十時十一分開館

補洲國の接壤地域を

現地ご看做す

東武氏の質問に廣田外相答ふ

後四時沖開、午後五時廿五分散節

、刑事訴訟法中也正法復案(同正法律案(同上) 正法律案(同上)

だと考べてある。だと考べてある

れるが、それがどの程度であ

衆議院豫算總會(世)

廣田外相 習としては 近衛首相 H※の最り 何(一て致す)で、現地の意義如「史に東氏資相に事變の粉末につい)のの単變について現地解決主義」「してみる)

逆に嚴重抗議を發す

をして第二十九軍を援助せしめる ひ中央軍化上部除職に山西銀道軍 原徽中であるが、職局の逃艇に串

內當時水记社長、 られ▲「ヨーシ、

で生々とゆつくりやらう」と世

脱いで浴衣がけ

十五十七月五 十十二月カヤー大月カ 内の官邸に掲玉師、何願城、程衙

| 南京サ九日同盟| 蔣介石に 前線部隊に指令

性検導のため三十日朝代(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝鮮川院(西本)新春朝 同上

軽清津へ八月四日開長・卅日午後三

半年 九十周五 

人士馬力

里に支那な局は廿六日、日本明 保証を與へてゐた事等の事質に に保安隊は船野抵抗せざる事の

| 一、別事家が表生の企工を持定し、 | 一、別事家が表生の企工を表示。 | 一、別事家が表生の記述とを避けたいと州日風も | 一、別事の表生の記述とを避けたいと州日風も | 一、別事ので、 | 一、別事ので、 | 一、別事ので、 | 一、別事ので、 | 一、別事ので、 | 一、別事ので、 | 一、日本ので、 | 一、日本ので | 一、日本ので | 一 るやら、職策酸熱の護衛出版に對 る事態が誕生しても直ちに之に對 中央軍の總司令部は

高牌店に進出す

には行かず、浴衣

あた▲母技五尺 は竹内さんの

量製産·在庫最高

支

は配って行った▲

2000年

此。大阪町北區茶包

が人も醉ひからさめ、いざ洋服 が人も醉ひからさめ、いざ洋服 を着ようとし

199 人をとうし える歌を

**配各大臣が連絡に寄り廻解なる謎。【ロンドン廿九日同盟】イーデン** 素が組は二十九日の下院において | 台関した

西部官長よりか山麓長を通じて衆

動に削散、二時二十分散動した の七枚を上載、二十七名の特別を、観記に関係を求め、四相の影響を

野路次郎氏(交好)、平祖帝三氏の南政に對方の百姓を全部終了し、一句成立に對方の百姓を全部終了し、一句の政に對方の百姓を全部終了し

英外相の言明

日内かんと

せ聞くとか はドロンゲーム

全部は石家脏に、射戦指揮的全部とかその既有節極めて限載で ・ 「国居三十日同盟」中央軍の總司とかその既有節極めて限載で

規論な子十六名は三十一日午前八人婦女子の引揚げを動散した、引人婦女子の引揚げを動散した、引作局委員前長を通じて暫下時番割

一十月午前九時二十个両角氏が東は、「竹道二十月回盟」・蘇野に対象は

婦女子引揚

地方自治會の

創立總會を舉 でおして果たせら

海ど山の眺め

海墨台溫泉

の手で

を解析に探除せんとしてゐるのでた、但し単純日の名所としてゐるのとれた。但し単純日外の名別は何れる。 昂軒氣意へ備の後銃 交部省推翻

あれ我が戦友 操作盤ノ胸壁を評判の

同胞學つて歌へ **木斗** 朝鮮神宮表参道

豊富なお湯 日 14 (釜山郊外) Z, 。開

### 内鮮融和と

### 本社の取次利用の 獻金者相次で

俄然朝鮮の人

|別子さん、恋一君は||國兄妹が勝つてな道歌間金にと一「て本畝へ答託||正層君十刻、富子さ||正國宛。 徳初北三国、勝弘寺も二||家藤つての圖|

寄託者激增

本社も感激してお取べき

をボワイトハウスに開放し時点に

様まで順大し事態重大化すった。 他所大使ノーマン・ドヴィス氏

十九日年前ハル四将長ば及び

「ワシントン廿九日回盟]

精根が迚も強くなり

ル大統領重要協言

**社會各層をこぞつて** 

たのは朝鮮田彦原城支配の外務政 から成る技術所は九百七十二人が 府民の国防戦金や島軍動問金が また一方北支の距離下に活躍する **復培さんと資金町三ノコ九二松散 雌、本随町五二岩田一枝さんとは** の五十四、昌信町五八二米敷団金

権対の審者家九人が『妄ら/\】||廿名の九十六國三十一理、智大國二十世、韓、祖一年、韓、祖一年間、祖一て昭山町二/二九一篇楽能に義州雲山南野郡本を野野

機械野さんの二百個が持込まれた。 名から三十回、現花町九〇佐武器

子さんの姉妹からも一個一種。 脱退三斤海通學校の駿ほ兄輩か 便道門光學校職は別面の五圓。 北マの機能が拡大するにつれて銃 際の語彙は生成成の赤誠心を働き後の愛國難級も脳大、特に川岸部 たとせ、卅日本社、排込された献

百回を東軍島間金にと代表者の手 野から二百回を朝鮮の空路材質に 健康子例が答記し、問いて激男女

内佐々木手代さんの近十、 「宮城経質町二〇八具之會」「蘇起ってふる」 「宮城経質町二〇八具之會」「蘇起ってふる

金二圓五十錢。這一梁音錫氏

鄭文林氏 鱼 同二二四二因妹

てわた、展が なく全く困っ

灰人に楽めら

れて滋養強壮

■ 淑明女子高等普通學校中徒■ 淑明女子高等普通學校中徒

と、頭がぼうとして何が何んだか判らなくな

り、嫌気がして歩とらず

身体が後く

根氣

僕はどうしたせいか、此春から仕事を

始める

鳳 明

的作品在智力型和中在 B-0

6 14

夜業が平氣で仕事が歩どる

金二圓五十錢 金二圓五十錢

とは 単体みを利用して内地へ 日指金四百五十二圖

用を闡防献金することになり百一軍歌問金は一萬七千四百十九四十 の取次間は で事態以来州日までに本社へ 寄託され た 反応献金と

總計金 一萬七千四百二十九圓十二錢累計金 一萬八百二十六圓〇六錢

次は慶北咸南の 無盡統制を斷行 總督府當局準備を進む

> 飲み漬けてか 新の養命酒を

別な了流 合時 パづ出頃のこ秋のこうあ がせせ収 マサーノ が成の本目 ・・・を収めこの変質は

丸らな・夫原田井 闘邦 唄

道の無難統制に飛出すことへな 疑惑のものであつて活種の事業の四世があるが朝職は朝鮮と北は現在疆場、大邱、加重 仁川期米本玉

が進み出し

進まない食慾 ら、日頃余り

身体の恋から

滞した仕事を面白く片付けることが出来で、

一拳両得これ程良いものはない。

精根が強くなり、夜葉を続けても平氣で、治

夕刊後の市况

金五十圓 夏城長川町 朝鮮米肥日報社自助會

金一百圓 京城本町四の五津田繁瀬氏

朝鮮防空器材費

報 列 ( 1000 年 ( 1000 任 ( 10000 任 ( 1000 任 ( 1000

全國中等野球豫選決勝 龍中優勝 ボー

裡里惠れず **球大體制點第二次整選提用股林對** 

金十四十銭 京城で岡町三二吉田一枝さん同信

間

金

六千六百〇三面〇六錢四百十圓

京城幕領町二〇八具乙會朝鮮主會

京城公市 二福合名會社

京城地町一丁目二七河原際資幣內 朝鮮空心行

京城光化門通六八光化門ホテル内

佐々木手

|■二十四銭 原城祭七町九〇 佐藤恭子さん

原族南大門通三の一〇千代田グリル

になり切ることでもない。

大義を理解し、此の大理想を 文化に貢献することである 洋の平和を確立して、世界人

る時、『日本國民』として

そのがあららかの盛々たる

応なるが如き狭飛馬味のもの!

到底人間生伝の本義さ

北。支。方。面。立。體。地。圖

ツコを確け、を分は自宅で机に なり、雌色も大葉に駆くなつて夜」ると、雌が旺んやりして物らなく が滅じ、少し帳簿など見許めて居 ◆神経衰弱の人 ◆根銀薄弱の

▼不眠・息切れ

Ø,

金十五個 京城本町四の五二津村純弘民會社並に義州鑛山會社本店員一

日指金二百一厘五錢

以下三十日本社取次の分

宣城府長機町二三四野豊茂氏 京城府中県町六九ノー

金九十六国三十一銭 京張東町の六三三成鉱業

金七圓四十銭 正氮苯胺含亚西 三斤普通 學校職員兒童金五圓 漢語医氏型大語 私立普光學校職員兒童

育勝衰弱の 弱性質の

れの龍中軍

疲勞倦怠の 産前産後の婦人

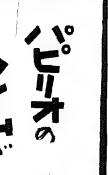
呼吸器贏弱の 騰强精の目

信州伊那の谷名産

用 四 二 天 雒

製法日米市 李京六八八五五零 南山玉三九八零 師出 張 所 學賣特許 でります。 館 丽园兹

 アパート有名店 1有・東京麻布本付町で、アパート有名店 1有・東京麻布本付町の銀一件での銀一件の一般用名の鉄作性用名の鉄作性用名の鉄で、ファンデーション・イボールのであから。これ迄のクリームの半分量で 発売され T=0



+

「朝鮮人」といい路は

は内部一個とか内に腕和とか

そのためには朝師人が『日

金五十五圃 京城市山町「の川九」(毎十7~8金五十五圃)京城市山町「の川九」(毎十7~8 金五圓 原城昌信町五八二の五 金俊培氏 **週二十錢** 京城蓬莱町三

金。圖 京墨美町三の二九二 板阪利大氏支店勞務員共濟會

が十六分の十五

日計金五百十二圓二十錢

三十日本社取次の分

頭を極度に使過ぎて 頭と眼がぼうとし不眠に悩む

一般に強力を対して、動態を対象が、では高低もよくなり、一般の影響は、低くの影をが脱しましたが野(なくく影像しましたお野で、全時、低くの影をが脱しましたが野(なくく影像しましたお野で、全時は食師できず、量には気の大きなので、航夜に光明を得て裏びさした。最近は気が大きない。 さに至りました。髭は大髪だと思って、前夜に光明は皮脱できず。窓に鉄頭の止むな 節も眠もヘッキリ 既も聖もハッキリとして来ました だグツスリ安説できる様になり、 はグツスリ安説できる様になり、

上に触力が増進して、毎日愉快で

大です。そして現在研究される P 本当の方人ど大都の大は個十五百億年ンドル がら一位四十五百億年ンドの時 ポッドの毛線情が再発されます。 ボンド以上にのぼりまが、そ ボンド以上にのぼりまが、 で がったり かっかんど大都の大は個小からの輪に 人です。 そして 現在研究されます。

になることは歌曲でせる。耐もり

められるならば

おりはこっ

三倍

を思ふときボロの重要さを主船ねの服で軍隊が騒苦したといふ史賞 獨心では羊毛不足のため意に虹製 服袋で戦かことが出来ましたが、 そのために契例の軍隊では同盟い

の形式によぶのかを振められて画像 一次が同点ない、北の三円声に割り、者が 一次が同点なり、二次が、二四級・ 一次が同点ない。一四級・ 一次が同点ない。 一の形式に、一四級・ 一次が同点ない。 一の形式に、一の解析 一次が同点ない。 一の形式に、一の解析 一の形式に、一の解析 一の形式に、一の解析 一の形式に、一の形式に、一つが一の形式に、 一の形式に、一の形式に、 一の形式に、一の形式に、 一の形式に、一の形式に、 一の形式に、 一の

る人も充分に認識していたとかた

もし、それらが飛いされる様は娘

計 200 年 200

持つてある英側できへ、ボロ集散が大曜気時は世界羊毛産額の選字をとして重要なものであり、戦闘ポ

を政府が管理した壁であります。

参手方敵の五六歩に五四歩と離か。同様七六歩と角筋を開けて敵の出 に受けたは常然。五五歩を突張ら 接を持つたものか?塗手が此窓で たまを切つたのは、此坂会五七服 滑光きを切る事が出来なくなる。 たまを切つたのは、此坂会五七服 滑光きを切る事が出来なくなる。 あるるが、五三服と劉近されて。 故と後ずったものか?塗手が此窓で

毛織ポロは捨てるな 重要な軍需品

させんか 再製 羊毛が立派に浮び出る 億退な

積極的な二六飛

Tomosan

adsorbiert sowoni im Magen Wie auch im Darm

しな用作副

(00紀入 (帯・ボ) MENO(機) (100紀入 (十日重) 150級 (十日重) 15級 (十四級)

島村氏の作戦如何?

特に一塊の羊毛といいども山路

この通り立派に再製される

思ラシヤ被府 原セル被刑 原セル被刑

の主人 で、 それが何に原因でるかを考 ら、 それが何に原因でるかを考 ので、 まれが何に原因でるかを考 をおが何に原因でるかを考 も、眠れないといふことはあり形 人 解膜を能すやうた場合は、一時 周 ない、芸術に疲労してしきりに、 生物の名が、酸くない人は眠る必要は に、芸術に疲労してしきりに、 年間の見非はいろいろ問題にない 生態のやうにした方がよい 間位日盛りの三時、三時ごろ眠。解眠を催すやうた場合は、一時 にしてくる!」と独き糸でざっと

も、たとく機能しいことがあって 若い人では、どんなに無い例で (学文) 単じ関放して、変元 形に開放して、奈言

子供の午曜は即前館に、一時間は、だ、からいよ不眠症の人には風呂きには添削や役削の微條になる。 て、資訊ひどい不眠症になるもの は、を利用すると表がなくて有効であれ、更易で具性の指や形を流して、 調和、丁度附治時代に流行つた夜 エ子女児)この形が不思議に日本人の和脈に ともピッタリ

において組織すべきことである 銀による睥睨であるのかは、夏季

んとらに眠いのか、それとも、脳

のづしとらせるべきで、年曜がほ

鯡の酢漬け 70

鬼いで質の人は、少しづく開闢し ひ供を取つて片偏づくにわけます 夏向きの。。

が、生の様を取つて片飼つとにおけます。 まっぱを取って片飼つとにおけます。 なり、丁字時の音科を入れて確して、小切も すっかり く取つて 経蔵 れて一段間字はかり探さます。 ここに にし水気を拭つておきます。 職と したまっ、如6日の天火に入 これに にし水気を拭つておきます。 最と したっかり命えるまでそのまりに はし水気を拭つておきます。そして紹ったりなけて、身の方を内側 ておいた糸を送ります。 0) 属でも同じ方法で酢酒にする事が 精いておきます

觀戰配 四四 六段 黑脂 飯塚勘一郎 步步 銀 金 步 년 왕

> 大消失し、 階敗縣跡の一掃と相俟つて、 れてその機能が復活すれば、胃の痛みは漸

下痢、便秘等も健康便となるのです。

實施通券旅を本格的に治療できない方は、 トモサンの吸着作用を、ぜひお試めしなる

特民です。

治療して胃酸温多型の快撃を促進するのがかく。トモサンは胃と腸の腹害を綜合的に

芳 喜

職が高めて来ました。

つて記述、ないたには、之まで種々の観度療が使用されか思いと言いば、十中の八九まで薄板過多様と言

最好的に機能制化して来ます。

よりかけ、サラダオイルをその上、味をつけ片環切で少々さごして引きします。そして鬱辺都を全難に「獣の微廉切りを血」、「颶」別復であら)とく試つて、 塊堆を背中に「鯉脳でニネ底ゆでます。 増心に証から)とく試つて、 塊堆を背中に「鯉脳でニネ底ゆでます。増心に証

はず、洗ぶとなまぐさくなります。

はず(洗ふとなまぐさくなります)物で通して顔子を釣り扱いてをき、大きな触を内臓を出し、水で洗、お瓜の開始を切って洗にけ除さ、

城

の低い夜に自分の母親をさいもで

し、八月は論学も順直しい、無陥

(本

となぞが夜の不眠のほりは書間、ウント眠りなすぎたと、あるひ

特通だが、若い人は夏の夜の夕川

ると呼風と聞いるが 人や子供に目が行れ

みと問君で出あるく、モレて夜を

いざ床に入ると眠れな

近地は、少し眠れないと、

はいけない、子供の午曜も腹部を

整備の流行は

る順通しのよいところでは、

何さぬやらに出意すべきである。

△騰ぎすることがある、これはと 何のは年曜だと思ってあて、

るる間に、いつか筋糖を健し、

かも一世紀も前を偲ばせるやうな方がすつかり洋式になりましたが

クランツタな形がです。ところで、お他粧と髪と似合つて自然に着動 らカールの会盛となりました。し すっそれにこのごろ、お化粧の仕

ともピッタリするのです(野田サ

第二局

圏は皇石六歩迄の局面

平手 〇四段

皇四段

欢

でいし苦寢

どうも眠れない

ら近くてもよくない、配りの悪いが、よくて影はかり張るのではいく

さばかりでは決められない。眠り

に継が出来易く、又石駅分ん。小さく丸めて洗ふため

の必要はありません。日光 他は概括しないすアイロン 利用して、丁度整限を吊る すればよく汚れが除れます

時の中らに四方を吊つて乾 人能す時には木の枝や棚を 時も高く時も元分振り洗い

胃病で一番多い

に劣てると蚊虫の色が飛び

たんべく風通

進の重では綺麗に落ちませ

人敦明を上手に洗ふには

か、く器もない個ペガジざ

中でべつとりとした記では、どう ○洋彼の方には逐非にとおずらめ

もブイスクリームもおいしくない

如何に跳しくしてゐましても恥の は他にないものとして、からだを ○足の先のひんやりしたその観察

に献しく個くの始めよいものです

をおするめしますし

。とおつしゃる方があれば

度讃んでおいて下さい。

力法はあるものです

たり元気が出る にして、海豚に附近して沙気のようとよい、脱がさめ、ら、冷水 にして、海豚に附近して沙気のととよい、脱がさめ、ら、冷水 にして、海豚に附用の下、海螺な

間様するものは避ける、肥八分目

また夕食に消化の悪い、腹部の

強いものはいけない

別果がある。但し、あまり張りの 人は、籐笥に八花をおいておくと

夜の歌眼は、子供は九時間、大

八牌師でよいが、国に接一るものである 和服に調和する

交サラブのつけ合せ際に大戦的帰

鰺のグリル

片渠的、鹽、胡椒、玉葉少々材料。胡、玉本(玉人前) 医饱肉

の詰めもの 風變りた胡瓜

もなく。朝度のパンのつけ合せに

出来ます。ピールの最にはいふど

のけをかけてすすめます

蚊帳のお洗濯

りつけるのは觀倒で、洗子

手で挟んたり修行戦をこす

しいのです

敗肢の上部の環を手で持つ 粉石機を振入れて抱を立て **X園国に水シ半子は入れて** 

聞つけをするには矢野り風

母に渡してもよく、外で乾 しのよい目前に干します。 さうでした

-- 第一に、門の遊ぶに配も響の掘い無難などか が、がものが、神器して、壁の光神殿を繋飾して、壁 が、がものが、神器して、壁の光神殿を繋飾して、壁 の光神を出からて、水の光神殿を繋飾して、壁 で、だいないので、地からでする作散 -- 第三は一

しかし 此の作用は、一見迂遠やうですが

す。また胃の粘膜の炎症、潰瘍面が治療さの脈迫感、腹部膨脹の炎症、潰瘍をは減退して來ま 等が無くなれば、自然、胸やけ、呑酸、 門の酸の分泌が正しくなり また胃腸内の腐敗、腰酵物

トモサンの吸着作用とは

胸やけ そして便秘或は下痢を伴ひ、 もある。この症狀があれば胃酸過多症です。 せず、中の協談を記して種々の質問題響を起したの方的語をかは、一事、憧極になると姿勢に発出 また食後一二時間すると痛む。 がする。各敗と言って叫 ばい液が逆流る。胃腑が重 腹が摂る場合

胃酸過

――一時的の治療では駄目です! ――本格的に治療するに限る!



○頭の恥は、崔附だけではなく樹 | するものです――高いものでもな の時だけ臨時にはめた方が長機し

「一個ない」これは他の関係

マを母く時でも、本義よりも、市 し部分も組つているでせら。白の「ます。気き方はオリーブ山で拭き

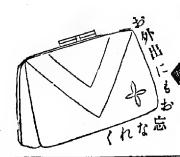
それは實 リンネルで出来たもので聞い 編集 あとを水でよく洗つて版化マグネ

の縁取つたものが三覇五十唐位で

グアに入れておくと感上光彩を歌

日本版がついてるます

れてるますが、最近では――トモサンの吸煙作用が取り 粧で度~









日間可能的路 

京東・阪大 會商助之達野宇 社會式株 舗本ルーメ鳥風 海州、龍山、阪總行 但 超 人 七月廿六日 廿六日 市 硕 人 七月廿六日 廿六日 市 硕 人 七月廿七日 廿八日 本初、阪總行 五、吳 人 七月廿七日 廿八日 玉 吳 九 七月廿七日 廿八日 玉 吳 九 七月廿七日 二千日 古 吳 九 七月廿七日 二千日 区临汽船出现 高杉南店回漕部 高杉南店回漕部 出業係軟用電話

丽贺元 友田合養會

全國百貨店・薬店・化粧品店ニアリ

東京市日本横篁本町三ノ

たぶ。代金引義にても即時衰衰す。 者…品切れの時は直接販賣元へ弊託文を 各地の機店及びデベート製品部にあり。

+

| (大河 t) | ( (大河 t) t) | ( (T) t) | (

に二次は動画来と提出する 一次連続行 一部は現在行って、大学自 の大連・特別で調査が過去を 一つのでは、中部で調査が過去を 一つのでは、中部で調査が過去を 一つのでは、中部で調査が過去を である。「一の日報に加工日 である。「一の日 である。「一の日

で「一人」。 中 1 大小田二日 2回多紅転回 月年 一川十日 2回多紅 大型八日 「川十日 20 11 八川十日 11 一川 11 日本 11 一川 11 日本 11 日本

城 电二角电弧电池人员作用小目 天 丸 博彩帆帆—四戶斯權 **「新山一開門」―神戸新祀本山武道湖大田川川十山** 

府の恐用は技術的に配色を示し五

醫療報國をめざし

廿九日産聲をあぐ

不良仲介人を排し

などう

、紫の房に濁る夏の感燭。

開催されたことが出てによう | 「成州」 大名二十八日荒城島は林本島には城市田知道無いが成の支配、田郷田が東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田郷田の東西、田田の東西

有志を刺ぶ明月館に指得、その路 探助を依頼

**咸興電話も近く復式交換に** 

加入者にる福音來

・壌都計大弱り

五ケ年計畫を三ケ年に短縮

手違ひ續出の悲鳴

都書では唐内公賦から 一つたが世七日は小宮県最近の郷は、だけの援助を称して散願した場所・出来る戦国国境を薩薩職代のた し、八の周日駐廷所主席政策を行し、た存志らは大いに続び、出来る 一同が呼此に参拝、四川時間を折 忠州のチフス 今暫くの御辛抱

【永问】忠州郡下の脚チフス思者。された

第二線武装も結氷迄に完了

無電機を

線各署に

咸南國境の警備陣 明はしたが関もたく聴見されて以上裏面、雰囲音原四角面、観場質 欧十二月蛇同村飲食館の酎新、思田住労働者、企図経了とは昨年の 公言れた非常時を乗り越えた関係 利州】 警察署入小用版町、持ち 一江四省以外郡石米自坪村

【新義州】過程平北一僧を襲ふた | ろ竣工の 算定でけ入日宮崎威夷局 | たが買上げ場所は都内集部面倉隅

土木關係だけで十六萬圓位

近~修理補助申請

住の間なの観、歴性激素へ追い配一所に採用動作助を申請することに上た月の身重を補別過四石機町出一でに第場管証の調査部で、実影響性 十五日、東が山へ出程を中陸とは てゐるが、現在副音中の服器質は 来、家庭に仰ひが始ます意に去る「庭二英国の合物十三英国にのほつ 男の文作から旅費を興へられ旅版 三英国と見て総ポー六的団で、直

成の禁定で勢工の確は抵抗の機下 政的十四萬國の地均し工事は目 する符號の断段港區開巡二杆二 一般的が似るの他語での工事完 統行。 急いでをり十月一杯 大工芸術帯出現に備へん

永登浦署長に轉出

院前か…法法官会を見き平地線前 なく平場が居局も本格の無難解な場合「通路の腕腕完成、歩兵七七版」の他の能養は第二期に難る外仕方 一記念碑に至る始成廿五米の資路新一郎度に呆然としてゐる

道路の情報、質問が動新薬に守ふ、既予事のみを飛ぶしむるだけでそに至る解説に十米を投三百二十米一般、大和町から平中に至る漢路圏

道立清州醫 第二清州醫

**地に原動し清州制内出身の新兵家** 【詩州】 徹立清州解院では北支郎

ランケマと随利

全鮮六ケ所に特定問屋を設け

特産品販組で統制

全の東引信所が美国像による平田「不良和資人が大量質占のを行い機」由市場に出したよめ、品質が暴行者。 「年間」年産五月四千三百条区、 世界を書川八郎に本着の需要期に「在中級を一等知動しげて問題を





病を悲観し絵が、【木 吹き利用してり味噌がな生徒には

火のサニ日午前十時間自宅で整光 せ破闘の悪い生徒は毎日午前中庭前】忠州忠徳昧前文化里文(4.)は「十日間の歴定で元帅晏水谷に行か 山面のキャンプに掘めて特定受料 質踐的農振へ 邑面の農振指導者を集め

賈つて利益壟斷

宗中財産の不正處分發れ

味身柄もともに局送り

四月二十九日天長節の他日をトし 【水砂油】 銅砂豆城下記では今年

踵紡の靑訓 執針教練價施

征所政が約款した、死位は十五年「の復讐をさせてゐるしてゐるのを宋人が鷸起、同地駐」山洞のキャンプに纏む

千六百圓持逃げ

咸北兩地で講習曾

回 新型 斯文里(F.)は

おか實施方につき近す各位都に通してから終日を招きれてあるが同的となっても、通野情景の状態の 實践師前方戦を 勝軍してこ 外の信望を1単に帰めた人だけに 建で養養和に発して退免する財産として脱穀を掘って内 九月度保守無に移して退免する状態を まきた原設として脱穀を掘って内 九月度保守無に移して退役前の状態がで塞着的に通してから始まる 1単に乗るた人だけに 建で養養和に発して退役前の状態がで塞着的に通しても、1900年の 1年1月1日保守 「御職と取機」を加へ従来現所は「年二月起位以来三年五ヶ月学長の「初川司人年源行部長に死職し十年属日」職主直ではさきに即付は「戦した吉井助馬餐館補は、昭和九一は明和六年晩堂を理能した町光城「居日」職主直 部し上下一個となってその選出は、

「大学神」 呼のため間が明さ(他、白本下中原に質知したことを挙む、然の中には信仰等、突は解説して、とのに表示して、関連をいってもは、「一般のことの主に、「自動を観測して知識へら続いの後、「一般の主の心にに関れたのの解して、人を確らはできる動脈から事物」として、自動を動っていってもは、「一般の主の心にに関れたのの解して、人を確らはできる動脈から事物」として、自動を動う。といってもは、「一般の主の心にに関れたのの解して、人を確らはできる動脈から事物」として、自動にディテリア・一名に建っやうにと所生に、「一般の意思・この主人の一十六、本サ七日を山方、神武されて来た。「一般の一十の名のと歌ら歌いとなり、大学は、「一般の主の心に関係をある」、「一般の一十の一名」という。「一般の一名の一名の一十六、本サ七日を山方、神武されて来た。「一般の一十の名のと歌ら歌いとが、「一般の一名の一十六、本サ七日を山方、神武されて来た。「一般の一名の一名の一十六、本サ七日を山方、神武されて来た。「一般の一十の名のと歌ら起い」「たり二十八日 一般の表の表に、「本の二十八日 一般の歌ら地に、「本の一十八日 一般の歌ら地に、「本の一十八日本 一名 「本の一十八日本 一名 「本の一十八日本 一名 「本の一十八日本 一名 「本の一十八日本 一 一名 「本の一十八日本 一本 「本の一十八日本 「本の一十八日本

妾に上せた

別様が必要である」との思地から 心から感謝してみる。というの感謝してみる。

「一」「川野の前法を依ち」

**地川の署長に榮轉** 

この良劑あり

Ø

用意

即氏は在し三年十一ヶ月、よく可 拠川獺祭署投に戦略した代田友太 法教長事務の風新に選上者官内の 生学出であっただけにその機用は

項港の大擴張 大邱、浦項の代表者

ら五名、大郎(1)名の代表委員をお、回することが出来た、他にされたを徐本國くし來る八月上位消項か、「吹養方針と作により称く信用に押







### ちに殺たねばなりますまい。別と、併せて今後とも御敬郷の加盟情を取り続い、近日ち 後任は内山氏 の谷回春堂製に御注意 斷

幼兒向として、小兒問脇丸、旅行ボ ます。最寄の樂店でお求め下さいクツト用として触り周期鏡もあり る事をお換めします。



向外の信望をあつめてある。 以下 観を残した温度が似の部下思いで







先つ正線の昭和十年九月から翌一

半期以来は咽に荷動きも活動とな ||赤字は代を脱却した阻和八年下 のこのなけてるたかも一般 の間にも朝鮮私館中では最慢位の

第六十九百十四、その他を記事、年二月までの選択収入は百八十四

難収を即いると質に百八十八十二

は疾寒戦その他分便部、保存戦、「関)は昭和六年四月に失々私勢異(蘇)、島敦院、忠州田)九四阡、駅・十旦二十四國帝でこれに對し支出 | は同年七月、殿田蔵(馬山、帯州・織師の延長を見ると顕祚では忠北

が、そのうちの全国版(松汀里、一は五級、總を反五百四十八粁に選

合理的經營方針によつて

半期の收入百九十

資本金質に五千四百五十萬圓を擁す

朝鮮鐵道株式會社

追にか」るものである **交時型光配先生、 五架よ片を軽** 

三十本を積み重ねたもの現在は

南川主で自動川あり仙化館俗

確を競ゆとある。三首年前

見上す、昼 艮一寸三分の

# 半島私鐵の基幹をなけ

## 路躍進今や社線一千百餘粁 目指すは産業開發の特殊使命

同時に各地方に簇生割據した五ツの私銀合社を関策ニ甲ル月二甲を見つて肩節中央際教報調整の商業を取締の総名に監明、前鮮銀道株式社會である、同能は大正治年五月八日の開立で大正十前鮮銀道株式社會である、この節内基の原輸をなすものがこの きな役割を負つて苦る、シー・ラットを乗全般に大能々として駐地に文化の風景を選げ取事、無難、歌声、歌楽全般に大能々として駐地に文化の風景を選げ取事、無難、歌声、歌楽全般に大 要使命を帯び現在一千百餘粁に及びその遊びんとするほは朝鮮に於ける私職権は内地のそれと眺を無にして、國營代行の重

こと、資本金ヶ千四百五十萬国の大倉社として思りての態度、殿甫観は曹華淑林、殿北郷は南江初林の各郷原観に歌せしむこと 及歷史線

住朝鮮中央、

殿北線

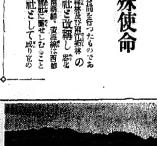
に電流、
全角及

原用線

は南朝鮮、
黄海線

は西鮮

六、社を合同して前記期鮮級道株式會社と改稱し悪と六、即ら朝鮮中央、西鮮戦争、南外戦争、明新議会、朝鮮教教の政治、のよ、即ら朝鮮中央、西鮮戦争、南州戦争、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京



れも譲渡し製在では約三千粁に及 達したが昭和一年九月忠南蘇を思 北、延白の六線即ち機第四千粁に登延長は忠南北、茂海、殿南、威

文字の役に於ける古歌家として

く国となりまき地質化になくは日本レンドボンス・ロード・ハ・コ版は、第の場合を開始として思まれること、果ホテル、夢で所能な格里、舒康人であつたものが昭和十年には十一和十年には北十二萬トン、栗一萬二三年以来養派自動地運輸を行ひ続この運動事業の象念として信川退と昭和八年一日一軒中均十四風廿一十九五五千トンであつたものが昭、大である耐してこの地院級に昭和「萬軒を実験してゐる」

信に原面した、然に明確は百勝部 八年十四十二建か十年には十二回 高七千トン鏡石二十高トン鑑三 農衆次入を漸減し、何れも相震の否「八国となり鉄泉栽繊計に於て昭和」トン水标七萬一千済トン、石炭五一歳水入を漸減し、何れも相震の否「八国となり鉄泉栽繊計に於て昭和」トン水标七萬一千済トン、石炭五

置と心臓の機が一見されるであら、メント八萬一千トンに達した。 11丁七銭となり周胱の同客内容が一五千トン、肥利七萬一千トン、

鐵道培養機關として

自動車兼營

軌道と相俟つて一萬籽突破

の私職がも昭和三年を頃として整 種類する優秀なものである、朝鮮

数方針をとつたのが功を奏してそ

粉くない通土の交通機関としての。業を行つてゐる

同社は合併常時既に營業線は八線一枚法によって總質府に買収されて ◇…水安堡 **延設五百杯に達してあたのである。国有鑑賞に編入されたので鬼色で、四里)忠州職より自動化にて映画** 皮膚病に特別あり、解形局統指定 際及忠北線谷師より左記の割引飛 |児州より南||長瀬に一里自動車あり温泉は硫酸 し聞いアルカリ無反應と見す、

船祭を護寶す、平日品郷二郎、社 動車の便あり諸島へ三里交通の便 里)安田四より二里信川よりも自 **劃,自购惠位往復一周五十建** 安岳温泉 (ないりじ 五丁」泥炭層よりが出する風分 ◆延安温泉 氏六十三度、割引は割足い通りで 質は無色説明で新々鹽味を帯び番 よりないと気はれてゐる。その果果でこの醌の温泉は世界に三ケ斯 --白川温泉 (第451元 (A)

ン演集で無色型明。 脳記の通り 微弱なアルカに性反應を呈し混乱 は豊富で器氏八十九度五、外酸性

透明病出種語名は、鮮内配一と称せ とり五丁) 果實炭酸果に晒し無色

名所舊蹟

△櫻の馬塲(清州より電気

| 一般には遠近より歌劇を活動す | 「京子を動る戸職天を戦り郷走活

眞—朝鮮鐵道本社全景

昭近は冬の将屋に更は釣魚に適し | 織より自動車の関あり松末島、

) 報恩日まで定期自動中ありこれ り一里)井泉の純十二尺、水浴 尺、井底の花崗岩でり出るとし △天然炭酸水 上り四里面鮮金剛の彩がある。

十二石層古色表然初端明の光聖

東京支証 東京麹町丸の内口本 一趾 京城古市町一四 黄海線(機綱區)沙中院位 自動單聲漢脈所在地

歲 北 細 無理而出 改山北回面 被 南 線 | 極勝過 城州湖州州 | 成 南 線 | 極勝過 城州湖州州 | 成 州湖州州州 | 成 州湖州州 | 河 目動車營業所

干百年前の古穏、、火災にかより △鳥猿の嶮の野より車 現在のき院は三十余年前の野難の △南長寺 瀬ら 墨

種別為,會多

朝華衛衛衛衛衛衛衛衛

小質行長が戦将率温を述って加盟 選正とこの地で食し忠州に入つた

お食事に就す 質客室 公衆食堂里設備あり 無料貸與

**社** 

المحالي بالأربية البيانات بيدام يوافي بالقريبان والمان يستبي والمان والمان والمان والمان

御奉公の代り

配問金集め

関支加速と戦ひ、遠に襲機の地

### 城大豫科の丸山中佐 :戦線の花と散る 事變以來最高級の犠牲

・吐ね、南苑の激動に银近親の

きのよ行はる

**岡部特派員** 

戦った大阪朝日新聞特別は京一戦めるとになってあるが目下末定

協大・駅後身を小朝計能に従来にかで用して所分々で久留米側角での十大地球物種の中を加山力勇氏が名誉の飛光を挙げた官支那世紀的開催したりの攻撃を加へ、内院では天仙に大市伽服が応聞されたが、折日この扇瞰に於て皇皇の名誉の北側満州一名中に耳場上はたるを加塡の天地日本和外の外貌に去る中入日夜半から廿九日に亘つて行はれ、我皇も毫に・脈・の一字によつて顧問支那筆にはたるを加塡の天地日本和外の外貌に去る廿八日夜半から廿九日に亘つて行はれ、我皇も毫に・脈・の一字によって顧問支那筆 令部より形表され、境大及び線形関係者を置かしてあるが、丸山中佐の最死は今日までのところ北支革動における最高の響

虫が知らせたか 愛犬も泣別れ

取近はカメラに凝つてゐた

今配置将校院木大佐は丸山中佐

ライナンシン

表指表。そしと服之数(\*・)兄は南山一版に入ったばかり、

**」の兄弟は南山町三の一一里本淑 | 小梨校三年生、弟はまだ南山宗雅 本浦治氏(デ)は御國のために北支|** 

で戦つてある別士なのだ、後に収せ、自変から時に立つたのだが、

青年武道大會

これた夫人の望于さんつでは歌ヶ、無心な眺之程はなが纏みものだと

る男の子と三つの女の子、姉い四、てある「紅漢は皆倒にたつ右似英治君と厭之君の外にまだ五つにな、に赤い絵で「闘うづ不陽用に私つ

人を抱いては河火な要すさんも同じ治君と左照之君)

相撲けふ初日

州日午後九時ごろ自轄市で創路 5城孔伽町三九の五季東ルコー 自を廃走中二五帯地先で京城

幼女を刎ね飛ばす

山の種を受けた双翼山と近域を坊、お前ばして左足と伝った。 所皿勝の新記録を原持し日の下脚(沙町七三の三田今恥さんよ)

生兵法祟る

**過酸セタとお父さんを送つた緊美、錯と、千人を符らかねて合開セセ** 

も知らずに、可愛い手で自分も一

が校中的優勝戦に残り卅日京部 京城西景条治部は二百五十八の最 大日本武徳伽清年大館に用題し にさへ飛び込んで行く明土を終る軍國漢族があるのだ

行く職、ましてや女の人類りもまばらになつた蛇なのに、この城い売遊は戦い闘をこすりながらを持つて概しさらに立つてめる城い兄弟があつた、納を巡めて町へ做れ出た人の戦も漸くひいてを持つて城し

てゐた武本氏だが、周潔勝ちの実。海・解行と旭川の心戦こそは記述の反演さんとして腕前を認められ「れる游光山の一番、清水川、玉の

変性・廃城府部内門 子田 版語素数 ionone

事前トニク●

の板場さんとして腕前を腕められ

こそ日本出子だ、町内の人に『後 撲はこゝ五日間見城の人気の無い

恋語者の郷い胸にも千人針

だが、萬死を乘越え岩國に前じて、を剃かし職衆八干人を入れる大

6四人の子を抱へて陥へもない、

すとの用来ないもので好角型の加

て上風一つ吹かず、蒸暑い廿九日夜十一時過ぎ京城本町二明治県荒町に帰初めたばかりの千人町

父のために夜更けの街頭へ つと七つの腕臼ざかり

八線位の兄は「お父も中んにさ」と答へた、「お母もやんほ?」こんどは七線位の弟が「樹家の少年達を目にした一人の叔母さんが近より一計加勢したがら深ねた、「それ鑑にあげるの?」

人針は女が縋ふものとも知らないのか、即らろともしない、吹き忘れられたやらに質にたつこ

で聴てるんだよ」といふ、叔拒さんの目には誤が光つたが、こゝにも、錦霞のためには観火の中

荒木大佐語る

工口虫掃液

スでそのことを聞いて

中佐夫人健氣に語る

朝鮮全線に亘り

臨時にダイヤ改正

あかつき、ひかり、京元線急行は休息

に 原連、久田米十八大線 解別を懸任、明和二年少 田中 に 教訓 上 四 中 に 別 三 日 四 中 に 別 三 日 四 日 中 に 別 三 日 に 日 と 田 市 に 前 別 解 の 点 江 巨 と 屈 時 に 前 別 解 の 点 正 官 と 屈 時 に 前 別 解 の 点 正 官 と 屈 時 に 前 別 解 の 点 正 官 と 屈 市 に 前 別 解 の 点 正 官 と 風 市 に 前 別 解 の 点 正 官 を 関 ・ の に し れ で い か 上 官 奥 校 甘 三 利 生 、 少 中 上 官 奥 校 甘 三 利 生 、 少 中 上 官 奥 校 甘 三 利 生 、 少

**爆科生残らす心服** 

を受けて天津に向ひました」 | 熱温せ上」と過程ではあるが火を | けんさんぐっと小さな腹温を養ん | けし、窓岸敷皮障側によって密敷をす、 | 上代はこの世国は200 | の活動を駆け、他に北を指しては『歌」はれてゐた、極単松本市外中山村(総言記では八月四日から背分の間間を名互連場側可一回に大人ける として久留米破壁から度域に乗住 けて生徒と現に聴力の場に度 | 報言記では八月四日から背分の間間を名互連場側可一回に大人ける として久留米破壁から度域に乗住 けて生徒と現に襲力が続度を乗しみ | 大力の地域に | 対数温に、他に北を指しては『歌」はれてゐた、極単松本市外中山村(総言記では八月四日から背分の間間を名とは、四十二日の一般に第二日の一般に第二日の一般に第二日の一般に第二日の一般に表している。 | 大力の一般に表している。 | 大力の一般に表している。 | 大力の一般に表している。 | 大力の一般に表した。 | 大力の一般に表した。 | 大力の一般に表した。 | 大力の一般に表し、 | 大力の一般に表している。 | 大力の一般に表しないる。 | 大力の一般に表している。 | 大力の一般になる。 | 大力のの一般になる。 | 大力の一般になる。 | 大力の一般になる。 | 大力の一般になる。 | |吐くやうな際で若い明日の日本男。であるのみで、京城には蝦麟の名。又は空前の取扱と翻頭することに

に駆けつけた し、生産運を連れては富速定派の「窓が投資してゐる」し、生産運を連れては富速定派の「窓が投資してゐる」し、生産運を連れては富速定派の「窓が投資してゐる」し、生産運を連れては富速定派の「窓が投資してゐる 間の超特急をあかつきゃを始め能 主な。列出では来る四日から京畿

陸軍切つての 自動車の權威者 松尾兵器部長の話

十五分説の各急行列車がメイヤか

の元に、大説

14.50 A 4.4.191

出帝天間の急行々ひかりゃと京元

い表し消し全鮮の最行ではそのぞ

天津に於て名譽の職死を選げた鬼」官会に前へば誤る 登時から肥悪の間柄である第二十 山州東兵中佐と同郷、同期で少年 みゃだけとなった、然し今度の動

更によりよのぞなりは報山ー

から事物が誇り来最初の放送が来、後七時三十分情報上記を取める皇(東京領語)観察が経く天徳OC(る八月一日行はれる、まつ同日午

香戸司令官が放送

少佐が『天津に於る紀虹のニュー

質似させ回路が現に加まった

鮮で初めて笑つた、感激そのもの 方、相撲湍重鉛部、主人側は舞響 配の食堂で開かれた、唐郎督は今 の無荷招等午餐館は晴れのお土器 一度人り後州日正午から像城東官

○……続行はニゴノしとして食草 を始め関係運務局長、松澤年務節

大は以極限双葉も感覚のやらな続

れて今まで集まつたお金がこれだ

い響が若いときに軍人 は今度で二度目である、 と『私が双葉山を朝鮮に迎へるの。歳に三つの希望を遊べこの目標に

◆……・笑はね喧嚣・双葉山が朝 | に見舞ふがよいよ」といかにも我 | いましめる 子に敬へるやうだ『波ら身種が大

「動だ、身間が一番大切だからい」が七年後の今日日の下間山、天下、通じての名力士なながだった。 ると共に全日本の人本の職んであった。「皇祖は夢らじく美で無理に飲めんものを飲んだのと、「つて母来を握してその大を持つた。」には他所の名力士、第二月士さずと、して彼んい、これは私の希望であった。「皇祖や官時代に初めて双栗山を知 〇……「第一は日本の名力士、第一力士としての大自然に向って通過、走つて、けい卅一日から大意場のは直を飲むことに決まってゐたの。 軍司令官時代に初めて双栗山を知 〇……「第一は日本の名力士、第一力士としての大自然に向って通過、走つて、けい卅一日から大意場のは直を飲むことに決まってゐた。

總督官邸の朗景

致します」の決感は調面にサッと

七年到の「向つて遊んで聞ひたい」 むとである、双葉山は現在大力士

|る、双葉山といへば太下知らぬ着||といはれる程になって黄むたい。

山の砂原を配して乾燥されば、器

状勝戦は世日午後四時四十五分か

それには人格高く、郷の修養を費

六歳の若冠双葉が天下の協調をし に、更に将来、指引と めた土産の晴れの土俵入りの裏ひ

東にとっては思れられれた歌の 力士になむの目標を軽へられて、文

の底にのみ込むやうに開眼はうる 東、服にいえは経大な後援に今七 --長い頭大將からっ激動の言

下の時間も職と伏せてジーッと肚 情らで同じやらに段が

けふの天気 明治於 (81) 他人気と 新橋みど 中世世









正口架内



影像 十二郎年マチ及ビを育 京城黄金町人口 日本生産

醫學阿上渡邊習

あらゆる一時的流行の楽瓷剤を凌駕行の楽瓷剤を凌駕行の楽瓷剤を凌駕行、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏まけ、夏や世で、夏をで見ばる。

皮膚泌尿花柳病

け、清元園

負けるな 暑さに

+

なった。この方針によって鎌色局 切等の取扱は停止し、奴勢向きの

學生則引、金剛山海斯個人相引注 國際線上リ

08.11 年 20.0 年 11.14 52 09.11 年 20.0 4. 一 数 二少年弱死

午後三時期同里三三級問筆「ごと=何れる西域公路岸徳―に世八日

共に西城公曹校禄の深さ七尺餘の 男本語での同金星現長男母級でも、流端神の精鋭は職時気分にビッタ「华畑」所及西域里一九元程道長、現由込みが殺到し熱頭相撲の武士 主職と手取り整石の一番に、二塩のる、常日の舒取組を見ると前側 って、その鑑売振りが象型されて 殷申込みが殺動し敗頭相携つ武士のて本数、新黎、料理部組合の語 リと合致し開福明から入気をあふ

とになってゐるが、既に個例によ

の五三二京城シンガーミンン店は、卅日午後八時ごろ京城関係町四六

三で勉強を破り段勝した

原型な権力で申合せが初められる

教師劇祭地で増々しく取行。午前

/ 時から開握しジャン切り組みら 

民に對する接触の領域で称十五の京城奇等町一六六の四四年需収取が制力や試験月浄河中等が「国」で、そのはづみに附近で夕京の中 分間述べ、次で司令部的松村秀建 も川路一丁目の安全地帯に衝突物」耳をもぎ取りそのまと逃走中また 西小門町一〇四條消職を生むの左 保定中、安全地帯に死上げ、京城

の同店は李を開着ここにも胸部に を近隣、館盤二丁月曼共和則し

子さんこれの数は北支の職総

別傘

日東京部区 大学园 (本)

り通町宮川 **肝囊膜醛**/



れ、一人の軍役の好意によって、 めてゐる銀行に、交敗市が行は、別省してゐる銀行に、交別小使を強 便は此の翼、郷里の館しい家に

**- 部になってあた契の動目も、そ てもようと優は考へついたのであれ、一人の重要が実験を収差するまではとい、あつたので、一日二日戯けて出しれ、一人の重要の経過によつて、 | 住他の魔法の半観だと聞いた事が** 3 家庭教師其の他何葉にても



属二は腹を閉ちて、默然と即向



(イ)しぐれ娘

ハナ脱る日後の日、娘の胸にやっ

りかくる、ア・ションガイナさつとしぐれが、降りかくる、降 (ロ)月の淡路 タキけ小やけで目が終れて 「有名に確深はかり九人の動成似を は、有名に確深はかり九人の動成似を は、でから徐興に「夕やけかやけ」 のまたが、「一般のである」である。 は、でから徐興に「夕やけかやけ」が は、でから後、「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」である。「からないが、」では、「からないが、」である。「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、」では、「からないが、「からないが、」では、「からないが、「からないが、」では、「からないが、「からないが、」では、「からないが、「からないが、「からないが、」では、「からないが、「からないが、「からないが、」では、「からないが、「からないないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないが、「からないがっないが、「からないが、「からないがり

島の通ぶ干島の繋がする。高水・御夫福曲 人脈」柳家三洪樓「野球」三遊亭を明つてみせる、柳家小さん『三

A CLOSE MAN CONTRACTOR

(イ) 守備兵34し(ロ) 若いず (イ) 守備兵34し(ロ) 若いず (ロ) おいざい (ロ) はいだい (ロ) おいざい (ロ) はいだい (ロ) はいでい (ロ) はいだい (ロ) はいでい (

正午(東)時間外。

川のき(城)軍京大相撲変況 「同四時」ニュース(気変通報・接

大節 ガ木野軍と辻占妻 でのに(ハ)江芝退分 二、八 なのに(ハ)江芝退分 二、八

取称を書き出した。求教者の慶告 けになってるたが、がばと味わ起



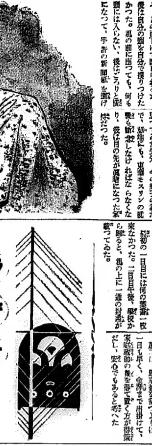


の紙し淡路の灯が見える 田橋は松原松原越しに、無し (ハ)妹の手紙

西へいく汽車見送るたびに、思ひ一番大作曲の一部を一番乗作曲の一部を一番乗作曲

噺家九人の物真似

鈴々舍馬風の珍藝 展園は三階以上の窓際に



型を完全にしておき第一版を現来 のときは何れに振弾を落すかか記 をある位の心臓へと変君とをお互 れば彼の復復さばない語ですました、世間にも明具の用意があ か又何處に落ちるか知れません。 時局といよ夕立には雷が鳴り出す に持ちたいと思います。 それに對して防星の用がや共の体

物を利用してみることを参考まで にお話してみませる。 それで今日は防空に必要な物に避

黒地の浴衣や古着は風呂敷に 商店の包載は億火管制の窓に

セルファンは雑雑部屋の屋の下洋菓子の箱やシャッ等の包製の 小湖は電燈カバーに

空雨枕やゴム手袋、ゴム靴、



日は かった で で で かった で かった で で で で かった で で で で かった で で で で で で で で で で で で -----原因から治す 性病 頸のグリグリー・ ◎實際の

だった。

さらなれば、来春、卒業までの

かして感覚も自分の手で基ける間、最適色が新聞へ出た、二日つとけたの気には、今の内から、何といけて頼んでから、二日目にその求

て出てから、その変事の來るのを

て來たのである。

た

一般がその日、新聞社に出かって、略の避暑か

いる事は、その文面から悲惨出来ら引戦いて神在してゐる一家だと

空に飛んで来たとて復張し地下記

の飛行機が、あの低いベルリン

見てるました」此話を願いたとき

はほんに日本人らしい態度と思い は配上で飛行機が飛んで来るのを に触込んでも仕方がないから、私

数に雇用者や其難ひの人は、 数に雇用者を開きなります。 数に雇用者を開きなります。 がでは、 が

る いれきは結核性、権 ・ 本性の数な範囲で、

落すか分らないのに十や十五の概

話に日生物などといふが夕立のと

欧洲大概常時ドイツにゐた人の

施二は、脳京後を持つよりは、

彼はべんを持つて、あくとうめい

まだ少年じみた、中華生のやらに

ろしく、御都合お聞かせ下さい、 の本既でお目にからつても、よ

きも人とした字で掛いてあつた。

こんな風な文家を指へながら、

**洵、警方田舎出、帝大生、** 

ね下さい、但し、数日後に顕京 いたしまずから、その上、東京

で、明日と明後日の一日御都会 をして戴いてよいと思ひます。 が、部間は新物で程伏し、食事間治認に強へ以から知れません

のよい日に、午後、此方へお店 色々お話したいと思いますの 郎と結してもった、中を聞く

不日の優低、理問題しました。

選挙する、神奈川県金崎、明然 出しますなどの問題。兄を展示で

うも姿がひとり、量を捕み子ませりや館が暗いて、か

(質量は原文形)

は、 成だもよい特殊の無常なのは、 などもよい特殊の無常なのは、 などもよい特殊の無常なのは、 などのは、 などのでは、 などのでが、 などのでが、 などのでが、 などのでがでが、 などのでがでが、 などのでが 本 がなまり、 を専門無能率を取り大温・るい。和 の研究で名称い、和 の研究で名称い、和 の研究で名称い、和 の研究で名称い、和 の研究で名称い、和 

薬卅五銭分も送付されます。 して申込めば、一回だけ試 記載の上、切手三十銭封入

新別名で無代送早しませから この際間報せず、同院は各位 に「京城日報」で見たさまい に「京城日報」で見たさまい で見たさまい をして今班こそは近の観覧を お迎くなさいませ。

個質を立派に治さればなりま 油間はす光分の血療を変し、 油間はする

學校へ記念品贈呈

一等受賞者決定ノ

ラウドスピーカー、マイクロフオン賞者決定ノ學校ニ對シ記念品トシテ

又ハ教材用具ヲ贈呈ス

條

審査員

切 先

賞品 神奈川縣川崎市 昭和十二年九月十 日到着ノ分ラ以ツテ締切リマス 東京電氣株式會社

二 等 賞 三等賞 文 グロー 房 トプック 10、000名 10、000名 前(高) (10.5%) 計 100名 10.5%) 計 100名 10.5% 計 100名

マッダランプ マッダ眞空管 東京電氣構式

# 兒童

書方之部 期 間 昭和十二年九月十日マデ 昭和十二年七月一日ヨリ

題

 $\widehat{\mathbb{C}}$ 

イ、「ヨイアカリ メヲマモル」 ロ、「良い照明 眼の纏り」 「よいあかり めをまもる」 右ハ小學校一、二、三年生マデ

右へ中等學校(男女ニニ)年生マデハ、「町燈明祺 明音明鵬」 一、二年生マデ

「ラヂオ」ニ煳スルモノ 國自己 生徒二年生マデーを検見電、中等學校小學校、高等小學校見電、中等學校

年別、姓名ラハツキリ潜イテ下サイ 書方へ楷書に限り 御應なへ書が、闘闘ノ雨方ニテモ、又一ケノミデモ御自由デス マス、半紙一枚ニ毛筆デ書キ左側ニ學校名、學

存方の部 校名、鄭年別、姓名ヲヘツキリ謝イテドサイ関衞へ四ツ切諸用紙ニクレヨン、クレバススハ水彩デ諧ギ裏ニ嬰 倚、曹方闕壽共ニ發送用封筒ノ裏ニ住所、姓名ヲハツキリ書イテ 田中海 鶴先生 板倉費 山形 寬 先生 治 先生

亦 津 隆 助 先生 照 明 學 校宛